

がんとともに生きること

—がんを知って上手につきあう—

講演概要：

一生涯のうち2人にひとりが何らかのがんを経験する時代となり、すべての日本人にとってがんは身近な病気と言えます。

なかでも女性に多い乳がんは、早期に発見できれば治療により治癒が可能で、治療期間のほとんどを自宅で過ごし仕事を継続されている方も増えてきています。

本講演では、がん発生のメカニズム、がんの予防と早期発見、がん治療について学び、がんとともに生きることや上手につきあい方などについて一緒に考えていきましょう。

入場無料・事前予約不要

日時

2019年 11月 3日 (日)

13:00~14:30 (終了予定)

12:30 開場

会場

今出川キャンパス 楽真館 (R401 教室)



たなか とみ
田中登美氏

講師プロフィール：

- 1984年 国立泉北病院附属看護学校を卒業、大阪府立羽曳野病院（現大阪府立病院機構大阪はびきの医療センター）に看護師として入職。
- 1998年 大阪府立看護大学（現大阪府立大学）看護学部助手に就任。
- 2002年 大阪府立看護大学大学院（現大阪府立大学大学院）看護学研究科看護学専攻博士前期課程（CNSコース、がん看護学専攻）修了後、国立大阪病院（現国立病院機構大阪医療センター）に看護師として入職。
- 2003年 がん看護専門看護師の認定を受ける。

- 2007年 近大姫路大学看護学部講師、
- 2009年 大阪府立大学看護学部講師、
- 2012年 甲南女子大学看護リハビリテーション学部准教授、
- 2014年 兵庫医療大学看護学部准教授を経て、
- 2019年 4月より、奈良県立医科大学医学部看護学科教授（現在に至る）。がん薬物療法看護、外来化学療法看護、チーム医療、就労支援、せん妄ケアなどをテーマに実践・教育・研究などに取り組んでいる。